



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場会社名 住金物産株式会社

上場取引所 東大

コード番号 9938 URL <http://www.sumikinbussan.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 天谷雅俊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画部長

(氏名) 前田茂

TEL 03-5412-5003

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日

平成23年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	397,888	2.2	5,857	47.6	6,006	37.6	3,460	55.8
23年3月期第2四半期	389,351	7.7	3,968	12.7	4,364	34.5	2,221	24.8

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 2,714百万円 (429.1%) 23年3月期第2四半期 512百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	21.26	—
23年3月期第2四半期	13.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	352,883		61,017			16.6
23年3月期	338,400		59,390			16.8

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 58,740百万円 23年3月期 56,747百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2.50	—	3.50	6.00	6.00
24年3月期	—	3.00	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	830,000	4.9	12,600	22.8	12,700	8.2	6,500	13.1	40.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	164,534,094 株	23年3月期	164,534,094 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	2,670,515 株	23年3月期	668,372 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	162,758,417 株	23年3月期2Q	163,975,549 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

【業績の概況】

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による景気の落ち込みがあったものの、サプライチェーンの立て直しにより生産活動や個人消費に持ち直しが見られました。しかしながら、欧米の財政不安による円高が進行し、企業の海外移転が加速するなど、依然として厳しい状況が続きました。

このような経営環境の中、当社グループの売上高は3,978億円となり、前年同期に比べ85億円、2.2%増加しました。損益につきましては、経常利益が60億6百万円となり、前年同期に比べ16億42百万円、37.6%増加しました。四半期純利益は34億60百万円となり、前年同期に比べ12億39百万円、55.8%増加しました。

【セグメント別の状況】

<鉄鋼>

鉄鋼部門におきましては、鋼材価格の値上げにより売上高は2,117億円となり、前年同期に比べ35億円、1.7%増加しました。経常利益は、震災の影響により自動車関連向けの鋼板の販売数量が大幅に減少したことなどから14億23百万円となり、前年同期に比べ1億81百万円、11.3%減少しました。

<産機・インフラ事業>

産機・インフラ事業部門におきましては、非鉄金属や鋳鍛品の販売が減少し産業機械関連も不調であったため売上高は512億円となり、前年同期に比べ7億円、1.5%減少しました。経常利益は9億37百万円となり、前年同期に比べ35百万円、4.0%増加しました。

<繊維>

繊維部門におきましては、個人消費の低迷や低価格志向が続いており、百貨店など大型小売店での衣料品販売は依然として厳しい状況が続きましたが、クールビズ等のメンズ製品の販売増やSPA(アパレル製造小売業)との取引拡大などにより業績は改善しました。売上高は796億円となり、前年同期に比べ61億円、8.4%増加しました。経常利益は20億33百万円となり、前年同期に比べ9億44百万円、86.7%増加しました。

<食糧>

食糧部門におきましては、鶏肉と加工食品が好調に推移しました。また、株式会社つば八の構造改革の成果もあり、業績が改善しました。売上高は545億円となり、前年同期に比べ4億円、0.7%減少しました。経常利益は16億17百万円となり、前年同期に比べ5億59百万円、52.9%増加しました。

<その他>

その他の事業には倉庫、テナントビルの不動産賃貸等の事業が含まれております。その他の売上高は6億円、経常利益は6百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

【資産、負債、純資産の状況】

当第2四半期連結会計期間末の資産は3,528億円となり、棚卸資産や受取手形及び売掛金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ144億円増加しました。負債は2,918億円となり、短期借入金や支払手形及び買掛金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ128億円増加しました。純資産は610億円となり、剰余金の配当や自己株式の取得があったものの、四半期純利益の計上などにより前連結会計年度末に比べ16億円増加しました。

【キャッシュ・フローの状況】

現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間末残高は95億円となり、前連結会計年度末に比べ1億円減少しました。

営業活動による資金の減少は、たな卸資産や売上債権が増加したことなどにより30億円となり、20億円の収入であった前年同期に対して当期は支出となりました。

投資活動による資金の減少は、投資有価証券や有形固定資産の取得などにより31億円となり、前年同期に比べ支出が9億円減少しました。

財務活動による資金の増加は、短期借入金による資金調達などにより60億円となり、前年同期に比べ収入が28億円増加しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、事業構造の改革により営業利益率を大幅に改善し、当第2四半期連結累計期間の業績が前回予想を上回ったことを受け、上方修正しております。詳細につきましては、本日公表の「平成24年3月期 第2四半期累計期間の業績予想との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

記載すべき事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,750	9,579
受取手形及び売掛金	208,119	214,255
たな卸資産	51,143	59,537
その他	10,401	9,664
貸倒引当金	△2,164	△2,388
流動資産合計	277,250	290,648
固定資産		
有形固定資産	31,766	31,501
無形固定資産		
のれん	632	699
その他	569	700
無形固定資産合計	1,202	1,399
投資その他の資産		
その他	31,461	32,453
貸倒引当金	△3,280	△3,120
投資その他の資産合計	28,180	29,332
固定資産合計	61,149	62,234
資産合計	338,400	352,883
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	170,773	174,805
短期借入金	74,559	83,139
未払法人税等	1,304	3,062
賞与引当金	1,218	1,201
災害損失引当金	402	69
資産除去債務	37	37
その他	10,288	9,673
流動負債合計	258,584	271,989
固定負債		
長期借入金	14,907	14,842
退職給付引当金	2,608	2,566
役員退職慰労引当金	332	267
関係会社整理損失引当金	44	44
資産除去債務	104	105
その他	2,429	2,050
固定負債合計	20,426	19,876
負債合計	279,010	291,865

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,335	12,335
資本剰余金	7,084	7,084
利益剰余金	39,532	42,420
自己株式	△204	△578
株主資本合計	58,748	61,261
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	875	556
繰延ヘッジ損益	△143	△326
為替換算調整勘定	△2,733	△2,751
その他の包括利益累計額合計	△2,001	△2,521
少数株主持分	2,643	2,277
純資産合計	59,390	61,017
負債純資産合計	338,400	352,883

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	389,351	397,888
売上原価	361,583	367,987
売上総利益	27,767	29,901
販売費及び一般管理費	23,798	24,044
営業利益	3,968	5,857
営業外収益		
受取利息	116	142
受取配当金	185	215
持分法による投資利益	809	299
その他	470	436
営業外収益合計	1,581	1,093
営業外費用		
支払利息	731	720
その他	454	223
営業外費用合計	1,186	943
経常利益	4,364	6,006
特別利益		
固定資産売却益	—	126
投資有価証券売却益	48	2
段階取得に係る差益	102	—
負ののれん発生益	—	57
特別利益合計	151	187
特別損失		
固定資産売却損	—	33
減損損失	137	10
投資有価証券売却損	4	—
投資有価証券評価損	610	73
出資金評価損	63	—
持分変動損失	—	171
関係会社整理損失引当金繰入額	85	—
関係会社貸倒引当金繰入額	49	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	161	—
特別損失合計	1,112	290
税金等調整前四半期純利益	3,403	5,903
法人税、住民税及び事業税	1,529	3,210
法人税等調整額	△173	△530
法人税等合計	1,356	2,680
少数株主損益調整前四半期純利益	2,047	3,223
少数株主損失(△)	△174	△236
四半期純利益	2,221	3,460

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,047	3,223
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△353	△290
繰延ヘッジ損益	△571	△182
為替換算調整勘定	△362	20
持分法適用会社に対する持分相当額	△248	△56
その他の包括利益合計	△1,534	△509
四半期包括利益	512	2,714
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	717	2,939
少数株主に係る四半期包括利益	△204	△225

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,403	5,903
減価償却費	996	1,075
減損損失	137	10
のれん償却額	180	117
貸倒引当金の増減額(△は減少)	125	35
賞与引当金の増減額(△は減少)	17	△16
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△83	△77
受取利息及び受取配当金	△302	△357
支払利息	731	720
持分法による投資損益(△は益)	△809	△299
固定資産売却損益(△は益)	—	△92
投資有価証券評価損	610	73
出資金評価損	63	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△43	△2
負ののれん発生益	—	△57
段階取得に係る差損益(△は益)	△102	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	161	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,964	△5,282
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,441	△7,674
仕入債務の増減額(△は減少)	2,390	3,267
その他	△719	855
小計	3,280	△1,801
利息及び配当金の受取額	682	864
利息の支払額	△712	△695
法人税等の支払額	△1,187	△1,411
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,063	△3,043

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,740	△1,458
有形固定資産の売却による収入	222	828
投資有価証券の取得による支出	△2,159	△2,026
投資有価証券の売却による収入	9	34
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	629	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△917	△33
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	62	8
子会社株式の取得による支出	—	△107
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△121	△0
長期貸付けによる支出	△1,210	△171
長期貸付金の回収による収入	1,236	20
その他	△164	△262
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,154	△3,171
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,629	9,345
長期借入れによる収入	348	850
長期借入金の返済による支出	△3,337	△3,103
自己株式の取得による支出	—	△374
配当金の支払額	△412	△574
少数株主からの払込みによる収入	1	—
少数株主への配当金の支払額	△22	△32
その他	△62	△70
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,145	6,039
現金及び現金同等物に係る換算差額	△124	3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	930	△171
現金及び現金同等物の期首残高	11,214	9,711
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	155	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,300	9,539

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 (百万円) (注1)	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注3)
	鉄鋼 (百万円)	産機・ インフラ事業 (百万円)	繊維 (百万円)	食糧 (百万円)	計 (百万円)				
売上高									
外部顧客への売上高	208,270	52,004	73,529	54,930	388,735	615	389,351	-	389,351
セグメント間の内部 売上高又は振替高	714	1,676	0	-	2,392	208	2,600	△ 2,600	-
計	208,985	53,681	73,530	54,930	391,127	824	391,951	△ 2,600	389,351
セグメント利益又は損失(△) (経常利益又は経常損失)	1,604	901	1,089	1,057	4,653	△ 300	4,353	10	4,364

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業他を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額10百万円は、セグメント間取引消去10百万円であります。

3 「報告セグメント」及び「その他」のセグメント利益又は損失(△)の合計は、調整額10百万円を除き、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 (百万円) (注1)	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注3)
	鉄鋼 (百万円)	産機・ インフラ事業 (百万円)	繊維 (百万円)	食糧 (百万円)	計 (百万円)				
売上高									
外部顧客への売上高	211,781	51,219	79,680	54,526	397,208	679	397,888	-	397,888
セグメント間の内部 売上高又は振替高	998	992	0	-	1,991	98	2,090	△ 2,090	-
計	212,780	52,212	79,680	54,526	399,200	778	399,979	△ 2,090	397,888
セグメント利益又は損失(△) (経常利益又は経常損失)	1,423	937	2,033	1,617	6,011	6	6,017	△ 11	6,006

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業他を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△11百万円は、セグメント間取引消去△11百万円であります。

3 「報告セグメント」及び「その他」のセグメント利益又は損失(△)の合計は、調整額△11百万円を除き、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

「鉄鋼」セグメントにおいて、当社は連結子会社の株式を追加取得しました。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては57百万円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

タイ北中部において、7月以降の豪雨により発生した洪水被害により、タイ中部アユタヤ県にある当社持分法適用関連会社、ロジャナ工業団地株式会社(Rojana Industrial Park Public Co., Ltd.)及びロジャナ・パワー株式会社(Rojana Power Co., Ltd.)並びに当社連結子会社、ミヤキ・エスビー・プレジジョン・タイランド株式会社(Miyaki SB Precision(Thailand) Co., Ltd.)が浸水被害を受けました。

当洪水による被害が当連結会計年度の財政状態及び経営成績等に及ぼす影響について現時点では合理的に算定することは困難であります。固定資産除却損及び復旧費用等の発生が見込まれます。